

その他の機能

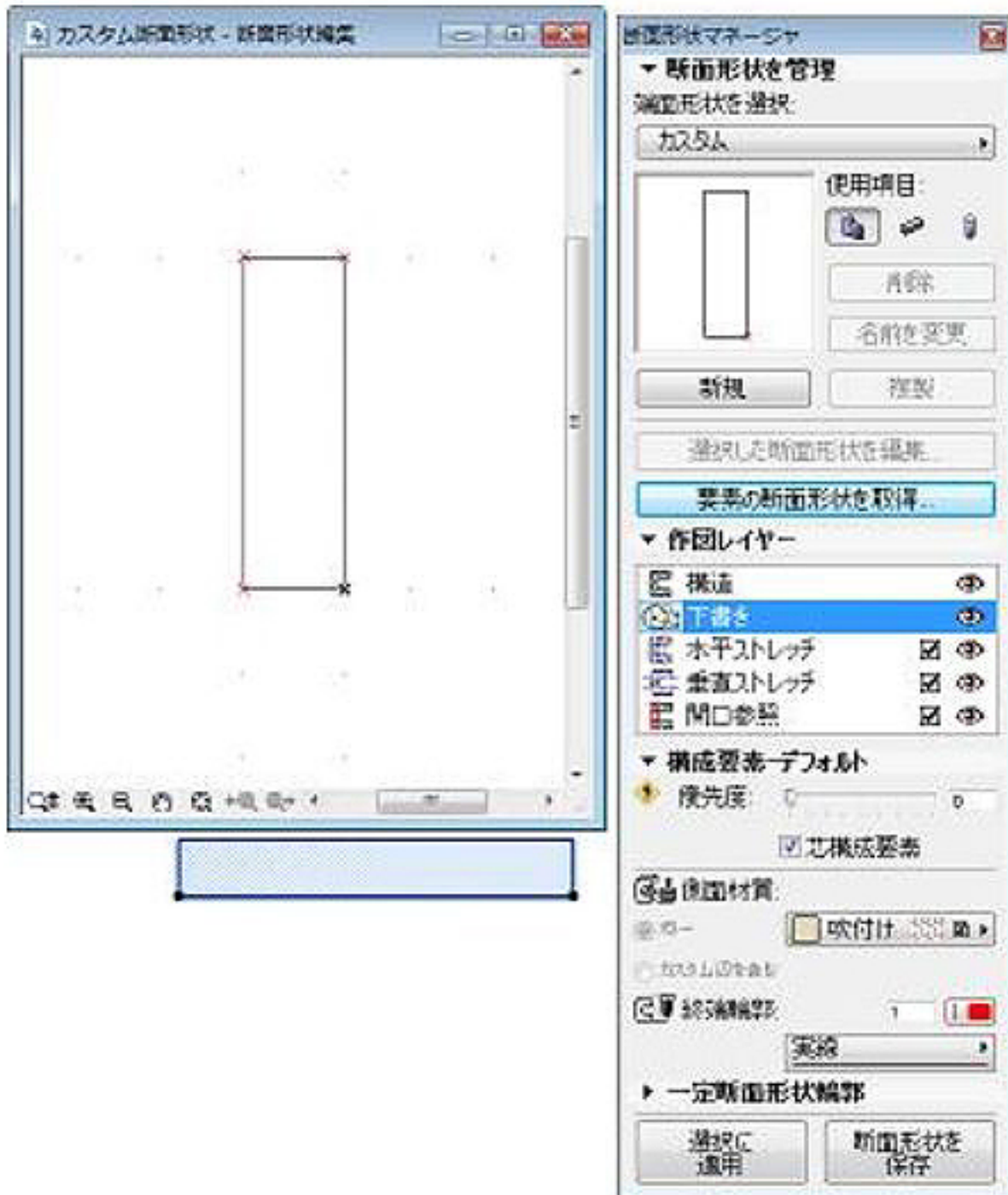
断面形状マネージャ

壁を切り取る方法として使用する『塀カット領域指定』機能は、厚みの面から見たアングルではカットできないのが現状です。

そこで、その方向からカットしたい場合は、メニューバーの「加工」メニュー内にある「断面形状マネージャ」機能を利用することで実行可能です。

平面図ウィンドウで厚み側からカットしたい壁を選択状態にします。

メニューバーより「加工」 - 「断面形状マネージャ」をクリックします。



画面内の「要素の断面形状を取得」ボタンをクリックします。

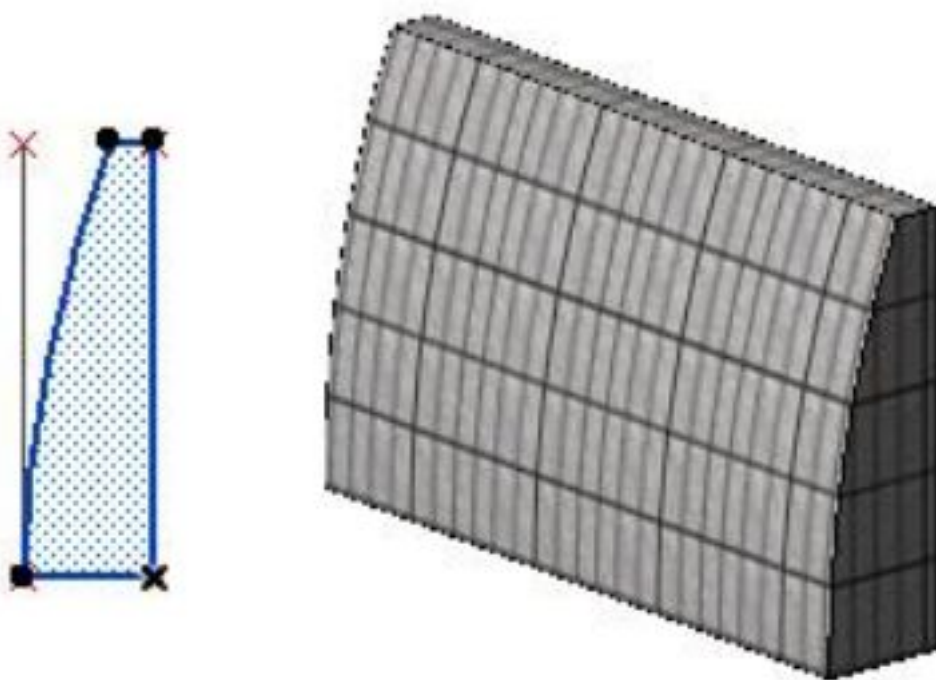
その他の機能

壁を厚み側から見た状態を表現した「断面形状編集」ウィンドウが表示されます。壁の形状は塗りつぶしツールで表現されています。

塗りつぶしツールの形状を変更し、表現したい壁の形状にします。壁の下端の角に黒い×（原点）マークがある側が、壁の基準線側の面です。壁の基準線側とは、壁の入力時にクリックした側であり、平面図ウィンドウで「包絡表示」を切り替えた際に、矢印マークがつく線のことです。

形状の設定の変更ができましたら、「断面形状マネージャ」パレットの右下にある「選択に適用」ボタンをクリックします。

「断面形状マネージャ」パレットを閉じ（この時に表示される保存作業は必要ありません）、3Dウィンドウにて壁の状態をご確認下さい。



一意的なソリューション ID: #1136

製作者: 亀田

最終更新: 2017-08-28 09:45